

課題名	101 カキの生産安定	分類	②
	カキの着蕾数予測法		
試験研究年次	62~1年(完了)		
I 目的			
結果母枝の形態と翌年の着果量との関係を明らかにし、生産安定のための技術確立に資する。			
II 試験方法			
1 試験場所 場内			
2 供試樹 西村早生(9~11年生)、富有(9~11年生)			
3 試験区			
(1)結果母枝長41cm以上、(2) // 31~40cm、(3) // 21~30cm、(4) // 16~20cm、 (5) // 10~15cm			
4 調査方法			
花芽分化数は1月中旬に休眠芽をりん片剥皮法によって、着蕾数は発芽後約30日(4月下旬)に観察によって、各々頂芽から10節目までを調査した。芽の大きさは、横径 \times 縦径 $\times 1/2$ の指数で求めた。			
5 区制規模 1区1樹(10結果枝)2反復(計3樹)			
III 主要成果の概要			
1 富有の休眠芽の花芽分化は頂芽から第7芽まで認められ、1結果母枝当たり32個であった。頂芽では8個以上の花芽が認められたが、第7芽では0.4個とごくまれであった。 西村早生の休眠芽の花芽分化は、頂芽から8芽まで合計47個(1結果母枝当たり)認められた。 発芽後(4月下旬)の蕾数/1結果母枝は、富有で14個、西村早生は13個となって品種間の差が小さくなり、発芽までに富有では55%、西村早生では70%の花芽が退化することが認められた。			
2 西村早生の1結果母枝当たりの花芽分化は、結果母枝が長いほど花芽分化している芽数が多く、花芽分化数(Y)は結果母枝長(X)と $Y=11.75+1.50X ; r=0.99^{**}$ で表される強い相関関係が認められた。また、休眠芽が大きい程花芽の分化数が多くなる傾向が認められ、 $Y=1.71+0.51X ; r=0.89^{**}$ 、X=休眠芽の大きさ、Y=花芽の分化数の回帰式が得られた。 結果母枝の長さ(X)と基部径(Y)も密接な関係が認められた。 $Y=4.94+0.11X ; r=0.97^{**}$ 以上のことから、西村早生及び富有の休眠芽は十分な花芽の分化が認められ、花芽の分化数は花芽の大きさ、または、結果母枝長によって推測可能であり、30cm程度の中層な結果母枝では、花芽が発芽後に蕾として現れる確率は西村早生で30%、富有で45%である。			

IV 主要成果の具体的データ

第1表 花芽分化数及び着蕾数並びに結果母枝長(3ヵ年平均)

(62~1年)

品種	時期	芽の位置								計	結果母枝長
		1	2	3	4	5	6	7	8		
富有	1月中旬(花芽分化数)	8.5	7.0	5.5	4.8	4.0	2.0	0.4	-	32.2	30.2cm
	4月下旬(着蕾数)	3.5	4.0	3.0	2.0	1.2	0.7	-	-	14.4	31.0
西村	1月中旬(花芽分化数)	9.3	8.2	8.0	7.0	6.0	5.0	2.0	1.3	46.8	29.2
早生	4月下旬(着蕾数)	3.0	3.0	2.5	2.0	1.3	1.0	0.4	0.2	13.4	29.0

第2表 西村早生の結果母枝の形態と休眠芽の大きさ及び花芽分化数

(63年)

区	平均枝長	基部径	先端径	芽の位置										計	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
		cm	mm	mm											
41cm	45.3	9.5	3.5	芽の大きさ	17.6	17.0	17.0	15.6	13.5	13.0	11.0	8.0	7.3	6.6	
以上				花芽数	10	10	9	9	9	8	8	7	5	3	78
31~	34.0	8.7	3.4	芽の大きさ	14.5	14.5	14.8	14.0	12.2	9.0	8.7	3.5	-	-	
40cm				花芽数	10	9	9	9	9	7	7	4	-	-	64
21~	25.0	8.0	3.4	芽の大きさ	15.0	14.2	14.0	11.4	10.0	10.0	7.3	-	-	-	
30cm				花芽数	10	9	8	8	8	6	3	-	-	-	52
16~	17.0	6.8	2.8	芽の大きさ	14.0	13.0	11.0	9.3	7.4	-	-	-	-	-	
20cm				花芽数	10	9	8	7	4	-	-	-	-	-	38
10~	13.3	6.0	3.5	芽の大きさ	12.2	11.6	9.0	8.0	-	-	-	-	-	-	
15cm				花芽数	8	8	7	6	-	-	-	-	-	-	29

V 成果の評価と取扱上の留意点

西村早生及び富有の花芽数及び着蕾数の予測法として利用できる。

VI 今後の研究上の問題点

年次または結果母枝の充実度の違いによる花芽分化数及び着蕾数の推定方法の確立

VII 資料名

昭和61~平成元年度 福岡県農業総合試験場果樹関係試験成績書